



第59号
 2023年3月31日
 発行
 鷺山自治会連合会
 鷺山まちづくり
 協議会

地域コミュニティ情報サイト「さぎ山の広場」では、掲載情報を募集しています！
 地域の出来事、募集情報等があれば sagiyama.machikyokun@gmail.com にご連絡ください。



鷺山校区 二十歳のつどい 謝辞

本日は、私たちの成人の門出に、このような会を催して頂き、誠にありがとうございます。また、ご来賓の方々、自治会長様、たくさんの方々の皆様より励ましの言葉を賜りまして、新成人一同を代表し、心より感謝申し上げます。

これまでの二十年間を振り返ると、嬉しいことや悲しいこと、時にはつらい思いをすることなど、たくさんのお出来事がありました。それを乗り越え、成長することができたのは、いつも私たちを支え、見守り、励ましてくれた家族、友人、地域の皆様のおかげだと感謝しております。私たちは現在、職に就き働いている者や学生として勉学に励む者、将来の夢を探している者や立場は様々ですが、それぞれが人生を歩んでいることと思えます。新型コロナウイルスがまだまだ収束しない中、常とは異なる環境の中で日々奮闘しています。この先もいかなる逆境に遭遇しようとも、この町で育つ中で学んだことを忘れず、大人としての自覚を持ち、明るい未来を切り開いていきます。

最後になりますが、これまでの二十年間を見守り、支えてくださった家族、先生方、また本日の式典をお世話してくださった自治会の皆様に改めて感謝申し上げます。今後とも温かい目でご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和五年一月八日 参加者代表 森 昂

今年、統一地方選挙の年です。投票日は、岐阜県議会議員選挙は令和5年4月9日(日)、



鷺山校区 二十歳のつどい 誓いの言葉

本日は二十歳を迎えました私たちのために、このような式典を催して頂きまして誠にありがとうございます。また、お祝いや激励のお言葉を賜りました岐阜市長様や多数のご来賓の方々にご臨席いただきまして、二十歳の参加者を代表して心よりお礼申し上げます。私たちは「二十歳」という人生の節目、そして大人としての門出を迎える事ができました。このように、無事に「二十歳」を迎える事ができたのも、時に優しく、時に厳しく私たちに接してくださった家族や、お世話になった先生方、幼い頃から温かく見守っていただいた地域の皆様のお陰であることを深く感謝し、ご挨拶を申し上げます。

ところで、皆さんには人生の座右の銘があるでしょうか？とある研究によると人生において何か指針や目標がある人の方が、幸福度が高いという研究結果があるそうです。私には好きな言葉が一つあり、座右の銘としてあります。今回は、その言葉を皆様にも共有したいと思っております。「明日死ぬかのように生きなさい、永遠に生きるかのように学ばなさい。」インド独立の父ガンディーの言葉です。明日死んだとしてもやり切ったと思えるように、一日一日を大切に、自分のやりたいことややらなくてはならないことを取り組む、また、日々些細なことから学び続けることが、人生を豊かにする秘訣であると解釈しています。実は皆様もよく知るステイブ・ジヨブズも「毎日を人生の最後の日だと思って生きよう、いつか本当にやってくる日が来る」という似た言葉を人生の教訓として生活していたそうです。そんな日々を大切にして精進していけるように心がけたことが3つあります。1つ目は、感謝する気持ちです。今、こうして当たり前のように日常生活を送れる事にありがたみを感じ、小さなことにも感謝する気持ちを忘れずにいたいと思っております。2つ目は、人との縁や繋がりを大切にしたいです。辛い事が必ずあると思います。そんな時は、ここにいる仲間や信頼を置いている人を頼りにしましょう。私も辛い時は信頼できる友人、家族を頼ります。3つ目は、失敗を恐れず挑戦することです。人は周囲からの期待、失敗や恥をかくことへの恐怖から、何かに挑戦することをしばしば拒みます。しかし、失敗を恐れて挑戦しなければ、後になって後悔すると思います。失敗したとしてもその経験が自分を成長させるのではないかと考えます。だからこそ、私は何度も失敗しようと思ったりとチャレンジを続けます。以上の3つのことを心がけて日々生活していくことを誓います。

最後になりますが、どうかこれからも温かい目でご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。以上で二十歳の参加者を代表し、誓いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

令和五年一月八日 参加者代表 太田 吉則

岐阜市議会議員選挙は令和5年4月23日(日)です。あなたの大切な一票を投票しましょう！

4年ぶりの開催！ 第61回 鷺山校区 市民大運動会

令和4年10月9日(日)に鷺山小学校グラウンドにて第61回鷺山校区市民大運動会が開催されました。鷺山校区市民大運動会は、台風の影響や新型コロナウイルス感染症拡大の影響により4年ぶりの開催となりました。今回は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながらの実施となり、今まで実施してきた地区対抗競技は中止となり、鷺山の住民の皆さんが個人エントリーを行う形式で開催されました。各競技に参加希望の住民が、開催前に配布されたエントリー券で参加申込をしました。

まず最初は、岐阜市スポーツ指導員の山内 香織さんの指導によるラジオ体操操からスタートです。グラウンドには、多くの皆さんが集まりラジオ体操第一と第二を行いました。この日の市民大運動会は、鷺山小学校の児童が地域住民の皆さんとの交流を深める週末授業にも位置付けられていたため、多くの児童の皆さんが参加してくれました。保



護者の皆さんも熱のこもった応援で子ども達の活躍を見守ってくれました。鷺山小学校児童だけでなく、青山中学校生徒の皆さんも、運動会競技の参加や運営ボランティアとして参加してくれて大活躍でした。市民大運動会の醍醐味は、あらゆる世代の皆さんが一堂に会して、様々な競技を通して交流を深めていくところにあります。親子でボールを運んだり、吊り下げられたパンを咥えたり、魚を釣ってみたり、時にはラムネを早飲みしてみたりと、非常にユニークな競技が楽しく繰り広げられました。

競技の最後を飾るのは、各種団体リレーです。自治会連合会、体育振興会、消防団、水防団、PTA、スポーツ少年団の6団体の皆さんが、10名の精鋭を引き連れて様々なアトラクションに挑戦しながらの競争です。各団体のアンカーは、仮装をしてグラウンドを一周していきました。個性溢れる仮装を身に纏い、市民大運動会の素敵なファイナルを飾ってくれました。



家庭教育啓発市民運動

「決めて、守ろう！」

『我が家のルール』

皆さんの家にも我が家のルールありますか？

脱コロナ、この一年間は異常事態から通常の活動を再開し、ふたつの新規の取り組みをなんとか無事に終えることができました。

当会議としての全体での取組み『三世代交流 秋の祭典』昨年度が初回の取組みとなるはずでしたが、新型コロナウイルス対策措置の緊急事態を受けて中止となり、今年度が初めての実施となりました。天候には恵まれて、オリエンテーリング、三世代交流活動、無事に終えることは出来ましたが、反省点・改善点は色々指摘されました。

学校行事(授業)としてのイベントは、前年中に日程の確定が必要との学校側の助言で、過去の気象データを参考に晴れの日にする確率が多かった日を開催日としました。終了後の反省点、日程の決定にはさらに考慮

**小学生向けの活動
スタートできました
会長 市橋 正一**

**鷺山青少年育成
市民会議だより**

第12号

すべき点が指摘されました。半年以上前に、100%晴れとなる日の予測は、出来ません。また、屋外で行う学校

行事を、雨天順延あるいは1週間後に順延するのほぼ不可能です。だとすれば方法の一つ、最初から雨天でも実施できる活動を計画するか、雨天の場合の対応策も予め準備しておく必要があります。今回は、雨天の場合も想定して準備はしました。雨天時に十分な



対応ができたかは疑問のままで。早期に日程を決めていた『ふるさとふれあい活動』のような、雨天でも活動できる取り組みを検討

・計画することが望ましいかもしれない。これは、今後の活動に残された大きな課題です。次回の『三世代交流 秋の祭典』は、令和5年11月25日(土)に行う計画をしています。その際は、ご協力をお願い致します。

二つ目の全体として取り組んだ活動として、学校園有効活用プロジェクト『トマト栽培』に挑戦しました。この『トマト栽培』は、私自身が担当責任者として活動を推進しトマト栽培と小学生との関わりの中で大成功だったと感じています。初めての試みで、学校側のアドバイザーと協力を得て、試行錯誤での実施となりました。

『トマト栽培』に関心の強かった2年生全員に、トマト栽培の様子を見てもらい、その説明と育てられたトマトの試食の機会を設けました。試食会に参加した2年生全員からの感想のお手紙を頂いたことは、予想しなかったことで大感激でした。こちらの思いが伝わらなかつた児童もいました。『わたしも大きくなったらトマトについて鷺山小で話したいです。』

『たぶんみんな市橋さんのこと好きになったとおもいます』など嬉しいお手紙もありました。



鷺山小学校からも、次回に向けてより有意義な取り組みになるように、前向きな意見をもらえました。鷺山小学校での思い出づくりのため、この事業は、来年度も続けていきたいと願っています。

毎月第3日曜日は、『家庭の日』です。家族でいっしょに過ごして楽しい団らんを！

親子ふれあい教室
家庭部会長
石原 志保

令和4年度は、3年ぶりに鷺山青少年育成市民会議、岐阜市社会福祉協議会鷺山支部共催で『親子ふれあい教室』が開催されました。鷺山校区にお住いの0歳児の子育てに奮闘中の13組26名の親子の皆さんが参加されました。

第1回

「親子でふれあい遊び」

第2回

「リラックスメガ」

第3回

「乳幼児の救命講習」

第4回

「クリスマス会」

第5回

「ぎふ木遊館で遊ぼう」



第1回及び第4回は、鷺山保育所の先生によるアンパンマンのパネルシアターや大きな絵本の読み聞かせ、手遊び歌に子ども達も興味津々でした。また、音の鳴る『ガラガラ』を親子で作りにして持ち帰りました。第2回は、家で手軽にできるヨガを体験しました。子育てで凝りがちな身体を伸ばしたり締めたりしてリフレッシュできました。



第3回は、岐阜北消防署の署員の方を講師にお招きし乳幼児の救命講習を行いました。心肺蘇生の方法やAEDの取り扱いをレクチャーと呼ばれる大人サイズや子どもサイズの人形を使って学びました。特に、乳児にAEDを使用する場合は、電圧を変化させる切り替えボタンがあることが丁寧に



教えてもらいました。第5回は、学園町の『ぎふ木遊館』で開催しました。思いっきり木のおもちゃに触れることができ楽しいひとときを過ごしました。マスク越しではありましたが、子育て中の親子の皆さんが、交流の時間を持つことが出来ました。



あつという間に
過ぎた二年間
社会環境部会長
矢上 貴夫

私が社会環境部会に関わる時点では、『いったい何をやるべきか？』という所から始まりでした。鷺山の青少年の健全な育成を目指し非行防止をする活動という事で、推進員、鷺山校区子ども会育成会、青山中学校PTA及び鷺山小学校PTAの地域生活委員、鷺山スポーツ少年団、主任児童委員から選出された『少年補導員』でパトロール活動を致しました。鷺山校区内の公園を順番に回り、子ども達に声掛け活動をしたり、マーサ21内を見回りました。その活動から思ったことは、鷺山校区の子ども達は、みんないい子ばかりで非行とは無縁だと感じましたが、活動していくうちに、公園に煙草の吸殻が大量に落ちていたり光景を見ると、我々の知らない時間帯に隠れて吸っているのではないかと考えるようになりました。また、我々だけでなく周りの大人たちが、しっかりと見守っていかないと、いけないと思いました。また、社会環境調査で地



域の中にある危険な箇所、健全育成にとって有害な施設や店舗の調査を行いました。しかし、鷺山校区には、そのような施設は無く、調査を行った大半が危険な建物等の案件であり、非行に結びつくような場所はありません。これは子ども達が育っていく上で非常に住みやすいという事で喜ばしいということではないでしょうか。令和4年度は、社会環境調査で鷺山小学校前の地下道の階段が築50年という事で滑りやすくなっており、岐阜市に報告して修繕して頂きました。我々の活動で少しでも青少年の健全な育成にお役に立てれば嬉しく思います。

令和5年4月1日から自転車に乗る人全てにヘルメットの着用が努力義務化されます。

昨年度は
 新型コロナウイルスで中止
 令和4年度こそ！
 三代交流
 秋の祭典 開催



令和4年11月12日(土)、13日(日)に『三代交流秋の祭典』が開催されました。令和3年度には、毎年秋に開催される鷺山校区文化祭、校区フェスティバル、ふるさとふれあい活動の3つの行事を再編して『三代交流 秋の祭典』として開催する計画が検討されました。しかしながら昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止となりました。そのため、令和4年度の『三代交流



秋の祭典』が、初めての開催となりました。実施された内容は、
 ①オリエンテーリングによる鷺山巡り
 ②折り紙飛行機とぼし
 ③竹ぼっくり
 ④折り紙
 ⑤コマ回し
 ⑥グラウンドゴルフ体験
 ⑦ジャンケンピラミッド
 ⑧雑がみ回収
 ⑨鷺山校区文化祭展示見学
 ⑩竹灯籠グランプリ投票

オリエンテーリングでは鷺山公園、北野神社、さぎしも公園、正木公園に設定されたチェックポイントを目標として鷺山を巡るウォーキングに挑戦しました。各チェックポイントでは、高校生ボランティアの皆さんが考えてくれたクイズが掲

示されており、チェックポイントを訪れた鷺山小学校児童が、クイズに挑戦をしていきました。学年横断で構成されたはぐるま班でまとまって移動をしていき、上級生が下級生をまとめて巡っていきました。折り紙飛行機とぼしでは、児童が作った紙飛行機で飛ばす距離を競っていきまし

色々な折り紙づくりに挑戦していききました。コマ回しでは、コマに紐を丁寧に巻き付けてコマ回しに挑戦していききました。日頃コマ回しの経験がない



児童が多く、上手く回すのは難しそうでした。グラウンドゴルフ体験では、学年毎に異なる距離で設定されたホールポストめがけて、ボールを打って



ヘルメットを被って、安全な自転車の運転を心がけましょう！



きました。グラウンドゴルフのボールを初めて打つ児童も多い中、見事にホールポストにボールを入れることが出来た児童もいました。ジャンケンピラミッドでは、ピラミッドの形に設定



雑がみ回収では、登校時に児童が家庭で集めたたくさんのおもちゃや雑がみを持ってきてくれました。雑がみを持ってきてくれた児童には、三角くじをひいてもらいました。ゼントを渡していきましました。この日に集まった雑がみは230kgにもなり非常に多く、雑がみを集めることが出来ました。



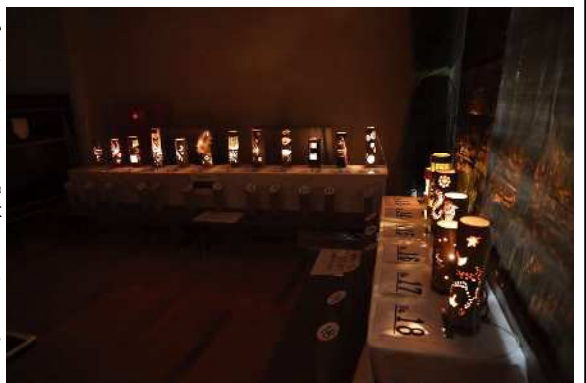
された椅子に鷺山老人クラブ連合会のメンバーが座ってくださり、児童のみんながジャンケンをして勝ち抜いて、ピラミッドの頂点を目指して進んでいきました。老人クラブ連合会の皆さんもジャンケンが強く、頂点まで辿り着くのはなかなか大変でした。



作品や鷺山小学校児童の書道作品、青山中学校生徒の自由研究作品を始め多くの作品が展示されていきました。その一つ一つの作品に込められた思いや、細かい細工、美しい見栄えに感



心しながら見学をしていきました。竹灯籠グランプリの投票では、5年生、6年生が製作した竹灯籠が展示された体育館2階の竹灯籠コーナーを巡りながら素敵な輝きを放つ竹灯籠を見ていきましました。その中でグランプリ候補作品18作品が展示されたコーナーでは、児童が配布されたおはじきを使って竹灯籠グランプリに一番ふさわしいと思っった作品に投票をしていきました。三代交流 秋の祭典では、多くの地域住民の皆さんの協力を頂きながら、開催することが出来ました。開協力してくださった皆さんに感謝申し上げます。



鷺山公民館だよりの

第93号

発行

岐阜市鷺山公民館

Tel 294-1665

鷺山公民館にご用
のある方は、月曜
日～土曜日の午前
9時～12時に来館
や問合せをお願い
します。



令和4年度

鷺山校区文化祭

「三世代・みんなであつくる

秋の祭典」

鷺山公民館

館長 林 勝己

令和4年度は『三世代交流 秋の祭典』という鷺山公民館、鷺山青少年育成市民会議、鷺山校区子ども会育成会の3団体の主催行事を同時に開催する記念すべき大きな祭典となり、鷺山公民館では鷺山校区文化祭を開催することとなりました。

新型コロナウイルス感染が続く中、感染防止対策を最重点に対応しながら、鷺山自治会連合会・協力団体の皆様にはご支援・ご協力を頂き、また校区民の皆様には多数ご参加を頂き、盛大に開催することが出来ました。

3団体が協力し運営内容・プログラム等も斬新なものになり、例年以上にグレイドアップした、文化祭でした。令和4年度は、2日間の開催となり、前日は鷺山小学校のご協力で土曜授

業での参加となり、館内は大変賑わい子ども達も展示品を見ながらお互いに感想を述べあつていました。

2日目は、インリダー生に参加して頂き、フラワールアレンジメント講座を開催しました。キットコーナーでは、親子参加でのスノードーム作りを初めて計画したところ、大変な人気で予定以上の参加者が有り担当者もビックリでした。



屋外では、例年通り鷺山体育振興会の協力でグラウンドゴルフ大会開催し、JAGび鷺山支店には新鮮な

野菜を格安で提供して頂き、毎回ながら大変な人気で即完売でした。

更にフードコーナーでは、鷺山まちづくり協議会・鷺山校区子ども会育成会や他にもご支援を頂き、みたらし団子・鷺山パン・大学いもは、大変な人気でいずれの商品も早々の完売で、鷺山校区文化祭の定番となりつつあります。



鷺山公民館クラブ有志の方々にも、開館から閉館迄入館者への新型コロナウイルス感染防止対応のためのチェックリストへの記入・

検温・手指消毒を徹底的に
対応して頂きました。

更に今年度も青山中学校の生徒の皆さんに、ボランティアスタッフとして参加して頂き、館内多方面で微笑ましく活動して頂きました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、御来場者の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしましたが無事に開催が出来ましたこと心から深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、御来場者の皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしましたが無事に開催が出来ましたこと心から深く感謝申し上げます。

文化祭を振り返って フラワールアレンジメント

森瀬 浩美

新型コロナウイルス禍の中、令和4年度も無事に鷺山校区文化祭が開催されたことに嬉しく思います。

コロナ前のように、全ての人達が日頃の活動をステージにて発表することは出来ませんが、作品コーナーには子ども達や各クラブの作品が、数多く展示されました。

私達フラワールアレンジメントクラブも、参加させて頂きました。日頃の成果を多くの人に観に来て頂き嬉しく思います。

体験コーナーでは、今年も鷺山校区子ども会育成会と一緒楽しい時間を過ごさせて頂きました。クリスマス

マスを使ってホームに牛乳パックを使つてハートの形を作り、オアシスに柔らかいスギ草・バラ等を入れていきました。飾りにサンタさんのピックなどを使っていきました。各自個性を活かした作品になり微笑ましく思いました。講座終了数時間後に体験した子ども達から『先程ありがとうございました。嬉しかったです。』とお礼を言ってくれました。嬉しかった人が

今後地域の人々がステーション発表出来る鷺山校区文化祭になるといいですね。



鷺山の資源分別回収は、毎月第3火曜日です。ゴミ減量のため、資源分別回収に御協力ください。

雑がみの回収に力を入れています。是非、様々な紙を「雑がみ」として回収し資源化を進めよう！

文化祭について

水墨画クラブ

霜田 英二

令和4年度文化祭での水墨画クラブの発表について、紹介させて頂きました。以前「十二月花鳥図」について、制作発表させて頂いたことがありますが、大変好評だったことから、今回も第2段として「十二月花鳥図」を題材とさせて頂きました。古今「花鳥図」は四季折々の美しい花と虫と鳥を、江戸琳派をはじめとする多くの画家によって描かれております。普段は墨だけで描く水墨画を中心に活動しておりますが、クラブ員の中には日本画も描いている方もおられます。墨だけでなく2、3色を使用しましたが、今回の花鳥図はそれぞれ題材にあった色を使用し作成しました。

令和4年度の鷺山校区文化祭は、未だ新型コロナウイルスという事で3クラブだけの発表となりましたが、その分、園児や小・中学校の作品の展示とか、竹灯籠の展示及びウオーターボールの作り等のイベントが盛り上がり、見られなかった。しかし、舞台関係がないことで、音と動きがなく、静かで寂しかったことも否めません。

令和5年度は、新型コロナウイルスも落ち着いて色々な公民館クラブの発表が出来ることを願っております。



文化祭について

書道クラブ

和田 辰弥

新型コロナウイルス禍の中、令和4年度の鷺山校区文化祭を開催して頂き、関係者の皆さんに感謝いたします。

書道教室は、霜田英二先生の指導のもと楽しく、温かい雰囲気の中で、初めての人、ベテランの人と一緒に自ら作品を、創作し学んでいます。

月2回の教室は、緊張をほぐし、日頃の心労を癒し自由にお手本を見ながら書いています。霜田先生の作品の分類は漢字、かな(色紙・短冊・掛軸)など、今回の鷺山校区文化祭も、お手本をもとに自分の書体で



自由自在に気楽に創作し、生徒全員で話し合い楽しく頑張り制作しました。書道クラブでは随時、生徒募集を行っております。気軽に見学にお越しください。お待ちしております。



「避難用持ち出し袋」の準備はしていますか？また、準備をされている方も、中身の点検を行っていますか？

鷺山校区文化祭 フォトギャラリー



定期的な点検を行って、必要な物を準備しておきましょう。

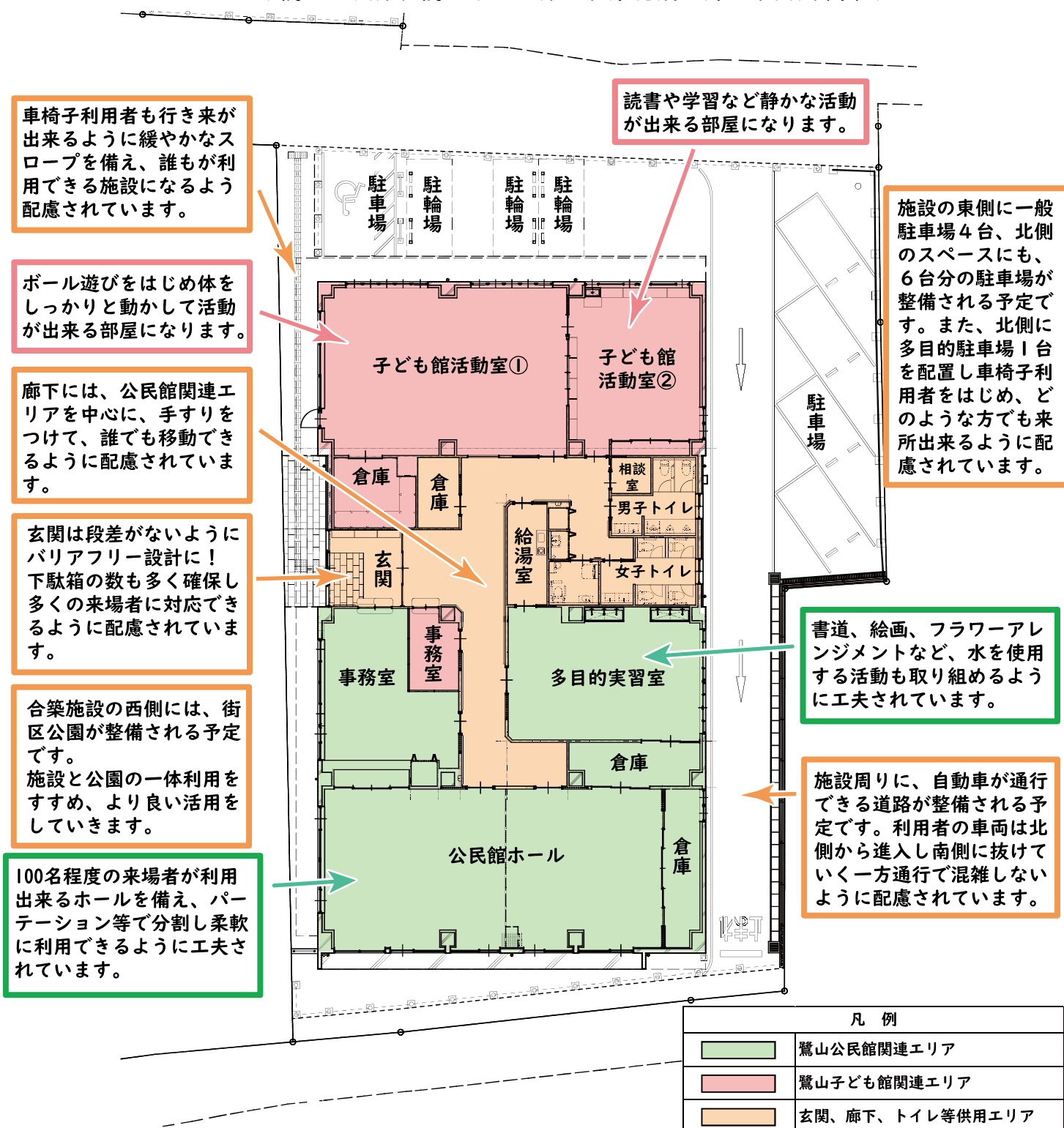




鷺山公民館、鷺山子ども館 合築施設の 建築設計(案)のとりまとめが終わりました!



◆鷺山公民館、鷺山子ども館 合築施設 計画平面図(案)◆



◆鷺山公民館、鷺山子ども館 合築施設の建設予定箇所◆

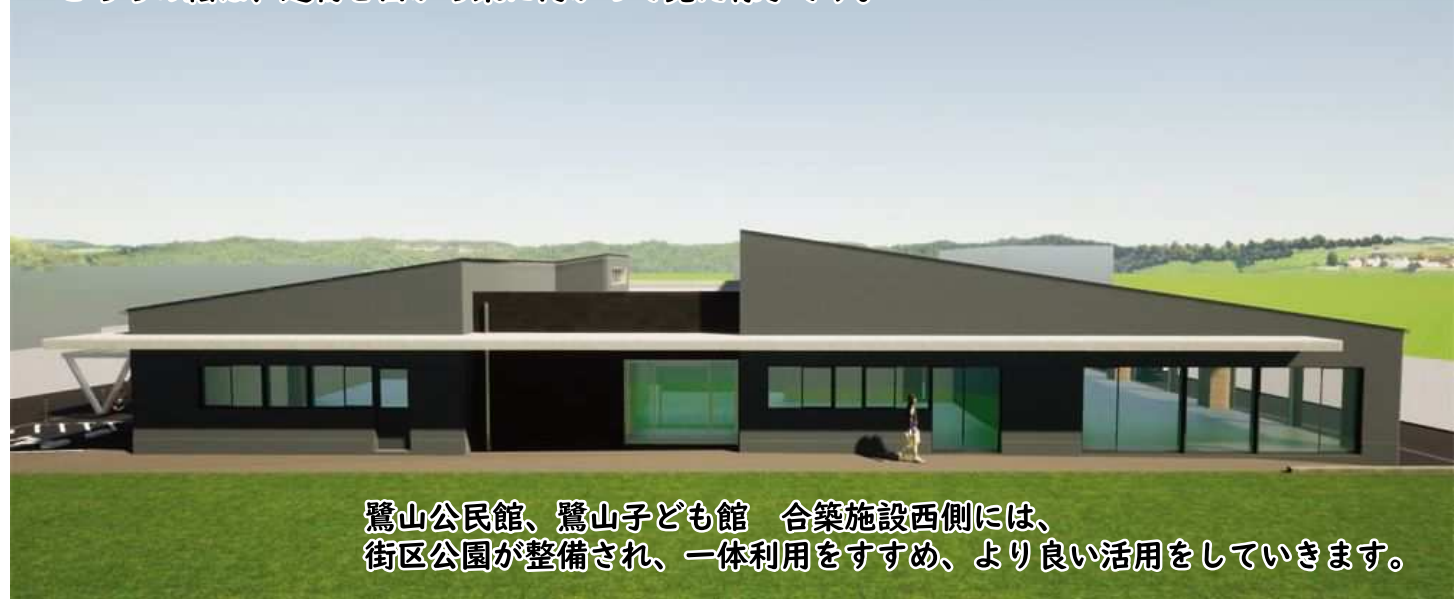


鷺山小学校内にある鷺山公民館は、以前より、土砂災害防止法の土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)に一部が含まれていることから、移転の必要性が検討されてきました。そのような中、鷺山中津土地区画整理事業で鷺山子ども館が立ち退く必要が出てきたため、鷺山公民館及び鷺山子ども館の合築施設を設置することが検討されてきました。

令和4年度は、自治会、公民館、まちづくり協議会、各種団体関係者が一堂に会して、合築施設の設計に向けた全5回のワークショップに取り組みで来ました。(左右の写真は、ワークショップの様子です。)

新しい合築施設は、老若男女、多様な世代の皆さんが集い、多種多様な活動に取り組めると共に、今後の鷺山のまちづくり活動の拠点になることを目指して、多くの意見を出していただきました。また、災害発生時には避難所としても機能することを前提に、アイデアを出していきました。屋根には太陽光発電パネルと蓄電池が整備される予定です。また、利用者の通信環境も確保するため、WiFiファイも整備される予定です。合築施設は、現在の予定では、令和7年度供用開始を目指し、工事が進められる予定です。

鷺山公民館、鷺山子ども館 合築施設 岐阜市から提供されたイメージパース(案) こちらの絵は、建物を西から東に向かって見た様子です。



鷺山公民館、鷺山子ども館 合築施設西側には、街区公園が整備され、一体利用をすすめ、より良い活用をしていきます。

※岐阜市より提供された図面に、ワークショップの中で協議された内容を記載しました。なお、ここで紹介する建築設計(案)は、令和5年度からの工事に向けて現在最終調整中です。一部変更になる可能性がありますので、御了承ください。

三年ぶりの開催になりました！

ふれあいいきいきサロン

&

支えあいマップづくり



第68号
発行
岐阜市社会福祉協議会
鷺山支部
Tel 231-0040

新型コロナウイルス感染症が広がるまでは、毎年開催されていた『ふれあいいきいきサロン』や『支えあいマップづくり』も、3年間開催することが出来ませんでした。その間、地域の高齢者福祉の交流の機会も減少し、地域コミュニティの繋がりにとつても、危機的な状況であると実感しながら、なんとかまちづくり活動を再開出来なにか模索を続けてきました。

そのような思案の末、令和4年度からは、各地区でのふれあいいきいきサロンを再開、支えあいマップづくりによる地域にお住まいの要支援者の情報共有を再開することが出来ました。

今までは、各地区で年2回のふれあいいきいきサロンを開催していましたが、今年度は、まずは各地区年1回の開催を目指して再開しました。新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの開催のため、今までのように参加者が食事を交えながら交流を深めることは出来ませんが、一堂に会して交

流を深めていくことが出来たのは、本当に良い第一歩を踏み出したのではないかと感じます。

令和4年11月27日(日)、清洲地区では令和5年2月5日(日)、古川地区では令和4年11月15日(火)、緑ヶ丘地区では2回サロンを開催し、第1回を令和4年12月17日(土)、第2回を令和5年2月19日(日)に、ふれあいいきいきサロンを開催しました。

鷺山全体での参加人数は、約200人となり、多くの皆さんが久しぶりに開催されたサロンに参加してくれました。

岐阜市地域包括支援センター北部のスタッフの皆さんによる脳トレやフレイブル防の講話、岐阜市消費生活センターの講師による詐欺被害防止にむけた腹話術や落語、マジックショー、鷺山のまちづくりボランティア活動に取り組んでくれる高生による合唱&合奏、岐阜市や鷺山の昔の様子を振り返る写真鑑賞会など、地区毎に特徴ある催し物が執り行われ、サロンの参加者の皆さんを楽しませてくれました。



清洲地区



正木地区



鷺山地区

「あなたの個人情報が必要だから電子マネーで支払を」

「還付金の期限が来ているので、今すぐATMで手続きを」

「支えあいマップづくりでは、自治会長と地区から選出されている福祉委員、各員の皆さんが、地域の情報交換を行うと共に、地震等大規模災害が発生した際に地域住民の手助けが必要なの状況を『要支援者』のお住まいの状況を確認し、『地域全体で見守る』ように『要支援者』を、検討する機会になります。



緑ヶ丘地区



古川地区

ご協力誠にありがとうございました。



正木地区



鷺山地区

「仕事で急なお金が必要になったので、部下が取りに行く」など、「お金」の話が出たら、それは詐欺を疑って、家族に相談をしましょう！」

す。支えあいマップづくりによる情報交換の機会も、新型コロナウイルス感染症の影響により、3年間取り組むことが出来なかったことから、新任の自治会長の方から、新しいマップづくりの支えあいマップづくりの方も多くおみえになり、重要な情報を共有することの重要性を改めて実感した次第です。



緑ヶ丘地区



古川地区



清洲地区



みんなあつまれ！子育てサークル
さぎっ子くらぶ

には、「弁当の日」応援団
・ぎふの平田 亨さんにお
迎えし、みそまるづくり
ついで説明を頂きました。
『みそまる』とは、家庭で
作る作り置き味噌汁の素
です。みそまるの材料は、
赤味噌、顆粒だし、具材は
して乾燥わかめ、豆腐、
ぶあられ、とろろ昆布が準
備されました。どの食材も
国産にこだわりの安心のも
召し上がっていただき、み
を厳選しました。みそまる



令和4年11月10日(木)に
正木公民館にて、さぎっ
くらぶが開催されました。
さぎっ子くらぶの冒頭には、
子ども達も大好きないつも
の手遊びを行いました。リ
ズミカルな音楽に合わせて
親子で手遊びを楽しませ
ました。手遊びが終わった
そまるづくりのスタートで
す。みそまるづくりの講師



粒だしの丁寧な混ぜ合わせ
みそまるの素を混ぜていき
ました。混ぜ合わせたいき
まるとの素を1人分に分けて
ラップに包んで丸めていき
ました。また、用意された
乾燥わかめ、豆腐、ぶあ
られ、とろろ昆布は、み
まるとの素の中に一緒に混
込む人もいれば、丸められ
たみそまるの周りに飾り付
けたい人もいます。飾り付
けたい人は、お湯を注ぐ
お椀に入れて、味噌汁が
お椀に入ると、味噌汁が
きあがりです。小さなお
さんには、少し薄めにし
てもらえばいいと思います。
自宅で見ると作る場合
は、ご家庭で使う器具で
お味噌で好きな具材を再
度作ってもいいと思います。

竹灯籠グランプリ2022 表彰式開催

令和4年11月26日(日)に、マーサ21ショッピングセンター、竹灯籠グランプリ2022の表彰式が開催されました。この表彰式には、竹灯籠グランプリ候補作品18作品の中から、グランプリ1作品、準グランプリ3作品の発表が行われました。投票は、令和4年11月12日(土)、13日(日)に鷺山小学校で開催された『三代交流 秋の祭典』の来場者に投票頂いた結果により選出されました。竹灯籠グランプリ候補作品を作ってくれた児童の皆さんは、ドキドキしながら、発表の時を待っていました。まずはじめに、準グランプリに選出された3作品が発表されました。準グランプリに選出されたのは、池田 詩帆さんが製作された『月下美人』、竹中 綾那さんが製作された『天の川のかぐちちゃん』、森瀬 柚香さんが製作された『未来を灯す登り鯉』が選出されました。準グランプリの皆さんには、JAGIふ鷺山支店から表彰状と副賞のJAGIギフト券が授与されました。



栄えある竹灯籠グランプリ2022グランプリ作品は、郷 凧杜さんが製作された『のぼりりゅう』が選出されました! グランプリに輝いた郷さんには、カワボウ株式会社から表彰状と副賞のマーサ21ショッピングセンターのギフト券、竹灯籠グランプリのトロフィーが授与されました。その他候補作品を製作された皆さんには、鷺山まちづくり協議会から表彰状と副賞の図書カードが授与されました。



今年も、鷺山小学校5年生、6年生が製作してくれた数多くの竹灯籠作品の中からグランプリ作品を選出することが出来ました。年々作品の出来映えがよくなっていくことを実感した展示と表彰式になりました。来年も素敵な竹灯籠がたくさん展示されることを祈るばかりです。



大規模災害発生に備えて、避難所開設訓練

令和4年9月4日(日)に、鷺山小学校にて大規模災害発生時の避難所開設に向けた訓練を実施しました。新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、避難所を開設する場合の留意点について確認するために、岐阜市都市防災部ならびに岐阜市地域派遣職員の皆さんと一緒に、訓練を実施しました。



材が保管されていきました。中には、妊婦の分娩のためにも必要な機材も保管されていきました。避難所にたたくさの地域住民が訪れた際、新型コロナウイルス感染症に罹患している恐れのある体調不良者を受け入れるために必要な小学校の教室についてもしっかり確認をしていきました。

その後、体育館に訓練会場を移して、体調不良者を受け入れるための隔離スペースの確保に向けたテントの設置、簡易ベッドの組み立てを行いました。最後には、避難所開設訓練を踏まえて、参加者から意見を頂きました。受付設置場所の位置の検討、避難者の誘導に向けた工夫の必要性、備品資材として今後追加していく必要がある物について意見が出されました。

令和4年9月4日(日)に、鷺山小学校にて大規模災害発生時の避難所開設に向けた訓練を実施しました。新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、避難所を開設する場合の留意点について確認するために、岐阜市都市防災部ならびに岐阜市地域派遣職員の皆さんと一緒に、訓練を実施しました。

鷺山小学校グラウンドの防災倉庫及び鷺山小学校の避難資材保管教室に備蓄されている物品の確認を行いました。防災倉庫には、炊き出し資材や資材を搬出するためのリアカー、発電機や投光器等大きな資材が保管されています。また、浄水機も保管されており、様々な状況下で活動が出来るように資材が揃えられています。

教室内の備品には、アルファ化米やおかゆ、大人用のおむつ、生理用品など、避難所での生活に関わる資

この時に出席された意見を踏まえて、鷺山では、乳児用の長期保存可能な液体ミルクパック24本入り3箱を備品として購入し、防災倉庫に備蓄することになりました。

